

SJクイズ

[問題編]

Q₁

小学生の歩行中の交通事故死傷者数（2020年）を学齢別にみると、最も多いのは1年生で、その次が2年生です。小学生の中で1年生と2年生が占める割合は何%でしょう？

- ①約40% ②約50% ③約60%

Q₂

小学生の歩行中の交通事故死傷者数を道路形状別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①交差点 ②交差点付近※ ③単路

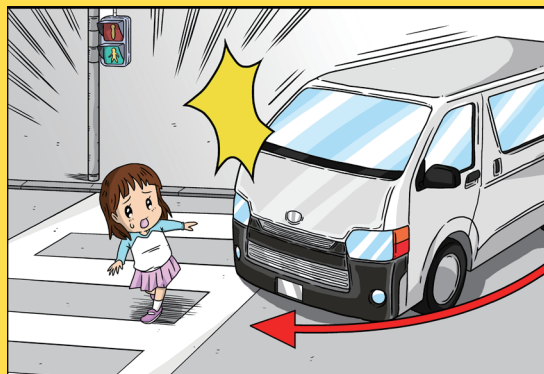
※交差点側端から30m以内の道路部分

Q₃

小学生の歩行中の交通事故死傷者数（第1当事者・第2当事者※）を法令違反別にみると、次のうちどれが最も多いでしょう？

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。
第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

- ①飛び出し ②信号無視 ③違反なし



【使用上の注意】

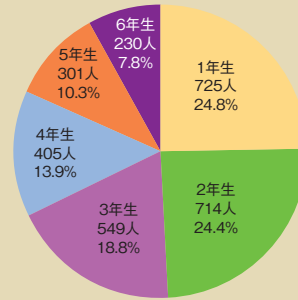
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q 1 解答 ②約50%

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死傷者数（2020年）を学齢別に見ると、1年生（24.8%）と2年生（24.4%）で49.2%と約半数を占めている。小学校の入学前後に交通安全教育を行っても、正しく理解できていなかったり、忘れてしまったりすることも考えられる。小学校低学年の事故を防ぐためには入学前後だけでなく、日々の中で繰り返し交通安全教育を行っていくことが必要といえる。

●学齢別・小学生の歩行中の交通事故死傷者数（2020年）



Q 2 解答 ①交差点

<解説>

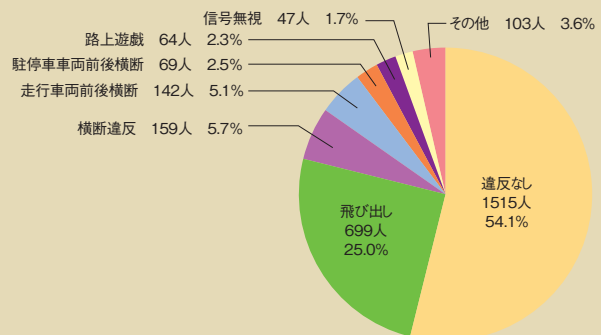
小学生の歩行中の交通事故死傷者数を道路形状別に見ると、50.9%が交差点で事故に遭っている。そのうちの約3割は信号機のある交差点である。また、事故類型別では横断中が多いことから、信号機の有無にかかわらず交差点を渡る前は、必ず止まって左右の安全を確認することを子どもが実践できるように指導する必要がある。一方、ドライバー・ライダーは交差点を右左折する際、横断歩道の手前で停止できるように速度を落として進み、横断しようとする歩行者がいなければ十分確認する必要がある。歩行者や自転車が横断している時やしようとしている場合は、必ず、横断歩道の手前で一時停止し、道を譲らなければならない。

Q 3 解答 ③違反なし

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死傷者数を法令違反別に見ると、「違反なし」が54.1%と最も多い。違反で多いのは「飛び出し」（25.0%）だが、事故に遭った小学生の半数以上は交通ルールを守っていることになる。飛び出しを防ぐための教育とともに、たとえば、青信号であっても横断する前や渡っている時にクルマやバイクが近づいていないか確認することの重要性を理解してもらう教育が必要である。一方、ドライバー・ライダーは特に登下校の時間帯に生活道路を通行する時は子どもの存在や動きに十分注意してほしい。

●法令違反別・小学生の歩行中の交通事故死傷者数(2020年)



※文中のデータやグラフの出典はすべて（公財）交通事故総合分析センター資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736